

Japanese school in Moscow

在ロシア日本国大使館附属

モスクワ日本人学校

吉田 纈一郎

日本人学校の修学旅行って？

今年度初めてのモスクワからの通信になります。モスクワ日本人学校2年目になりました。今年度も水俣二中へ日本人学校やモスクワの生活について情報を発信していきたいと思います。少しでも有益な情報発信ができればと思っています。

まず第1号は本校で先日行った修学旅行についてです。日本の修学旅行との違いや、海外での修学旅行の様子が伝わればと思います。今年の修学旅行はロシアの2都市（トゥベリ・トルジョーク）を訪れました。本校は毎年違う都市を訪れるため、児童・生徒は行き先を楽しみにしています。本校は小学5・6年生と中学部の5学年で修学旅行を行っています。中には5回目の修学旅行という人もいます。本校の修学旅行では、主にロシア文化への理解と集団の中での規律や協調性を学ぶ場です。

ロシア文化を深めるために今年は多くの体験を行いました。1つ目はトルジョークで行った、金糸刺繍です。ロシアでの金糸刺繍は、伝統工芸にあたります。実際の金を混ぜたワームのような糸で様々な刺繍を行います。バックやネクタイ、ポーチ、腕章など様々なものがあり、大変格式高いものになり、国際的な式典や会議ではよく身に付けられるものです。

2つ目は、ロシアの企業の見学です。今回はコーヒー工場見学を行いました。"poetti"という、ロシアでは売り上げが3番手の企業です。講話の中では、マーケティングの戦略や新商品の開発にAIを駆使していることなど貴重な話をさせていただきました。また、普段は見ることのできない製造工程を見学させていただきました。

日本人学校での修学旅行でも、日本と変わらず様々な学びを行っています。場所は異なりますが、学校では体験できないことを体験し、集団生活の中で思い出を作ったり、ルールやマナーを考え行動します。しかし、私が感じた日本との大きな違いは行動の制限です。ロシアは外出の際にパスポート所持が義務付けられています。そのうえ、保護者同伴ではないため、大きな制約がかかります。自主研修といった班での行動はできませんし、宿泊するにしても特別な書類が必要になってきます。そのため、自由が多くあるわけではありません。限られた範囲で、最大限の学びができるように計画をしていきます。

今回は、修学旅行について比較を行いました。似ている部分や異なる部分があり、新たなことを感じられるきっかけになれば幸いです。

本校の情報はHPやINSTAGRAMでも発信しています。

